

# 平成29年度 社会福祉法人ウイング 事業報告

## 《重点目標》

### 1. 利用者主体の支援の追及

支援者の意識・認識・見識によって、支援の質は変わる。人材育成指針に基づき、サービス提供の基本姿勢・障害の理解・人権意識など基本をおさえながら、OJT・内部研修・外部研修等を計画的かつ積極的に取り組んできた。人事評価表にスキルアップ目標を加え、スタッフの主体性も重視した。

### 2. 地域の福祉ニーズに積極的に取り組む

様々な困難ケースが相談支援から掘り起こされるようになってきた。相談支援をはじめ、生活介護・行動援護・居宅介護・放課後等デイ・短期入所などのサービス提供を関係機関と協同で行い、川島町の福祉ニーズに積極的に対応してきた。

### 3. 社会貢献の充実

生計困難者のための相談事業（彩の国あんしんセーフティネット事業）がはじまり、支援の実績（3件）により、地域関係機関とのネットワークがさらに広がった。

第2回 Smile∞Smile フェスや小学校児童との交流会が定着した。ボランティア募集を積極的に取り組み、受入の仕組みも整理した。つなぐ・人材発掘プロジェクトは終了し、次年度から新たな枠組みで推進していくことになった。

### 4. グループホーム設立計画の策定

グループホーム設立計画を策定し目標を定め、資金・土地の確保に取り組み始めた。

### 5. 法人本部機能の充実・強化

法人本部の業務を明文化しそれに基づき粛々と業務執行を行った。

## 【法人本部】

重点 目 標	○法人組織全体のガバナンス強化 ○事業運営の透明性の向上 ○財務規律の強化
--------------	---

- ・理事会・評議員会において審議いただく上で、必要な法人の経営・運営状況についてわかりやすい報告に努めてきた。
- ・税理士・社会保険労務士・弁護士の専門家の助言を受けながら、経理・労務管理・苦情対応など行ってきた。
- ・個人情報取り扱いについて、各事業所の意見を踏まえてマニュアル化・周知した。
- ・経営会議・本部会議を毎月開催し、経営・運営状況の共有や方向性の確認など行った。
- ・本部主催研修実施（主任・所長対象4回：管理職心得と部下へのマナー・人材育成・リーダーシップ・決算書の読み方／苦情受付担当者対象1回：クレーム対応）
- ・各事業所の利用者アンケート調査を実施した。（9月）

(1) 理事会の開催

	開催日	出席数	決議事項
第1回	H29/6/2	理事6名 監事2名	H28年度事業報告・決算報告、役員選任候補者の選任、定時評議員会の開催、定款施行細則の一部改正、経理規程の一部改正、給与規程の一部改正 報告事項：理事長職務執行状況
第2回	H29/6/19	理事6名 監事1名	理事長の選定
第3回	H29/9/29	理事6名 監事2名	定款施行細則の一部改正、経理規程の一部改正、多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ運営規程の一部改正、グループホーム施設整備計画等 報告事項：理事長職務執行状況
第4回	H29/12/13	理事6名 監事1名	育児休業規程・介護休業規程の全部改正、H29年度資金収支補正予算（第1号）、H29年度第2回評議員会の開催、報告事項：理事長職務執行状況・ワーク&ライクのびっこ H29年度埼玉県指導監査の結果
第5回	H30/3/20	理事6名 監事2名	H29年度資金収支補正予算（第2号）、H30年度事業計画・資金収支予算、ライフサポートそら訪問介護・介護予防訪問介護事業運営規程の一部改正、H29年度第3回評議員会の開催 報告事項：理事長職務執行状況

(2) 評議員会の開催

	開催日	出席数	決議事項
第1回	H29/6/19	7名	H28年度事業報告・決算報告、次期役員の選任
第2回	H29/12/21	7名	H29年度資金収支補正予算（第1号） 報告事項：ワーク&ライクのびっこ H29年度埼玉県指導監査の結果
第3回	H30/3/30	6名	H29年度資金収支補正予算（第2号）、H30年度事業計画・資金収支予算

(3) 監事監査

- 開催日 平成29年6月1日
- 場 所 ワーク&ライクのびっこ食堂
- 内 容 平成28年度事業報告等及び会計監査

(4) 委員会・プロジェクト

○研修委員会：会議12回

- ・新任研修（年9回）・法人全体研修（年2回）
- ・研修委員会だよりの発行（年6回）

○広報委員会：会議7回

- ・広報紙の発行（第26号／7月・第27号／1月）：各5,000部
- ・ブログの更新は各部所で行うよう取り組み、定着している。
- ・本委員会は次年度から法人本部にて担う。

○福利厚生委員会：会議6回

- ・スタッフアンケート実施
- ・サンキューカードの推進
- ・BBQ大会実施（10月）
- ・新年会実施（1月）

○つなぐプロジェクト：会議12回（最終年）

- ・第2回 Smile&Smile フェス：平成29年5月14（日）実施  
川島町健康福祉まつり・バラ祭り同時開催。来場者約4,000人。  
→次年度からは実行委員会形式で実施する。
- ・のびっこマフィン作り体験教室：川島町立小学校（中山・出丸）児童8名参加  
（8月）→各事業所にて地域に向けたプログラムを検討・実施する。
- ・「しゃべり場」開催：スタッフ・ボランティア参加（10月）→次年度から福利厚生委員会へ引き継ぐ。

○人材発掘プロジェクト：会議12回（最終年）

- ・ボランティア募集（アンケート実施・チラシ配布・インターネットサイト活用など）によりボランティアが増えた。受入マニュアルを作成した。  
→各事業所ボランティア係が引き継ぐ。ボランティア係連絡会を新規開催する。

【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"><li>○仕事を通して一人ひとりが、充実した毎日を送れるように、小さな喜びが積み重なるように日々を過ごしていく。</li><li>○一人ひとりに優しく丁寧な眼差しで日々を送れるように過ごしていく。</li><li>○安全運転で一年間、過ごせるよう全スタッフで協力していく。</li></ul>
----------	--

- ・利用者一人ひとりが仕事を通して幅を拡げ、誇りを持って取り組んでおり、のびっこが安心した居場所となっている。
- ・就労B型、生活介護ともに売上が伸び、平均工賃月額もアップした。（3. 利用者工賃参照）
- ・利用者の個性を活かした魅力ある商品が生まれてきている。また、のびっこアトリエの活動を通して、利用者の絵・文字を使ったTシャツづくりが法人の一体感の源になっている。

- ・ケアリーダーを配置しスタッフ連携を深めるきっかけの一年となった。スタッフの安心材料になった。
- ・班リーダー会議を月1回行い、作業班を超えての利用者支援の協力が深まった。全体で協力していく、悩みを解決していく良い形ができています。
- ・個人情報の取り扱いを改めてスタッフ全体に周知した。
- ・新しくドライブレコーダーを全車に搭載した。
- ・ボランティアを積極的に取り入れた。生活困窮者の方などの様々な地域の方にも参加して頂いた。人材発掘プロジェクトの支えも大きかった。
- ・ショートステイぬくぬく・ヘルパー事業所そら・グループホームにじ・相談支援事業所きらりと情報共有し、利用者の生活の安定に努めてきた。
- ・年間を通して栄養バランスを考えた美味しい給食を提供し、好評であった。

## 1. スタッフ体制

管理者1名・サービス管理責任者1名・事務員2名・嘱託医1名・看護師2名  
 生活支援員26名（常勤20名・非常勤6名）・職業指導員1名・目標工賃達成指導員1名・管理栄養士1名・調理師3名清掃員2名 計41名（うち常勤27名）

## 2. 利用実績

**契約者** 56件（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

生活介護（定員30名）39名 ・ 就労B型（定員10名）17名  
 ・ 新規2名（通信制高校卒業・就労移行支援から）・退所1名（転居）

### 契約者状況

性別	女性	男性	計	市町村	川島	川越	北本	計
生活介護	14	25	39	生活介護	35	3	1	39
就労B	7	10	17	就労B	16	1	0	17
計	21	35	56	計	51	4	1	56

支援区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
生活介護	0	0	0	4	17	18	0	39
就労B	0	2	5	1	1	0	8	17
計	0	2	5	5	18	18	8	56

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
生活介護	0	11	18	8	2	0	39
就労B	1	4	5	3	3	1	17
計	1	15	23	11	5	1	56

### 3. 支援内容・実績

#### 利用者工賃

- 就労支援B型 年間支給総額 5,102,897 円（前年度 4,293,322 円）  
 平均月額 25,014 円（前年度 24,817 円）  
 時給換算額 313 円（前年度 282 円）
- 生活介護 年間支給総額 4,729,800 円（前年度 4,387,100 円）  
 平均月額 10,106 円（前年度 9,537 円）

授産売上	カフェ	パレット	ジャカッセ	エラン	マハロ	合計
h 29 年度	12,517,427	2,999,269	4,350,312	335,635	3,018,781	23,221,424
h 28 年度	11,387,250	2,166,553	3,792,097	352,189	2,928,608	20,626,697
前年度比	109%	138%	114%	95%	103%	112%

#### 活動状況

##### ○就労支援B型

###### ・スマイルカフェ 1/2

川島町のカフェとしてお客様の憩いの場になっている。川島町からの依頼を受け、K J ブランド商品として、無花果米粉ドーナツとシフォンを試験販売した。J C O M、L a L a T V、さいたま T V の川島特集にて放映された。今後も町とタイアップして商品開発・販売を発展させていく。1月に2泊3日の沖縄旅行を楽しんだ。

###### ・パレット班（プリント事業）

4年間のお客様を大切にしたい積み重ねの中で注文が増えている。のびっこアトリエを不定期に開催し、利用者の表現を活かした商品づくりを行っている。「商品が生まれるまでの物語」をお客様に伝える工夫をしている。

##### ○生活介護

###### ・マハロ班（製菓事業）

リピーター顧客が多い。パティシエの指導の下、新商品開発（ノア・ド・ココ）や定番商品改良をした。季節に応じた売り方の工夫や商品の見せ方を工夫した。長年の積み重ねの中で利用者が職人のような働きをしている。

###### ・ジャカッセ班（資源回収・公園清掃）

月曜日は伊草地区、火曜日は中山地区、水曜日は八幡団地と地区限定で毎週資源回収し、丁寧な関わりを通して、地域になくてはならない存在となっている。回収先の開拓で順調に回収量が増えている。

###### ・エラン班（紙漉き・名刺制作・紙工芸）

牛乳パックを新しい紙に漉き直し、利用者の個性を生かしたポチ袋・メッセージカードなどオリジナル商品を作り販売した。バレンタインではマハロとのコラボ商品も手掛けた。リハビリや公園清掃など個別の体調も考えた支援をしている。

##### ○ランチサービス

毎日の給食はみんなの日々の楽しみになっている。メンバーの希望や嗜好・アレ

ルギーについて情報の収集を行い、安全で喜んで頂ける給食の提供に努めた。行事食等、季節感のあるメニューを積極的に取り入れた。

○年間行事

入所式（４月）、かわじま春まつり（５月）、水泳教室参加・暑気払い・夕涼み会（８月）、１泊旅行（行先：山梨／参加７５名：利用者３８名・スタッフ２５名・ボランティア１２名／１０月）、餅つき会・クリスマス会（１２月）、成人を祝う会・新年を祝う会（１月）、カフェ沖縄２泊旅行（１月）、班別レクリエーション（３月）

○健康管理

健康診断（４月・１１月）、体重測定（各月）、服薬管理、保健便り発行（４回）他

○防災訓練・点検

消防避難訓練（６月・１１月・３月）、防災総合訓練・緊急搬送訓練（１１月）、消防設備等の定期自主点検（８月・１２月）、定期業者点検（８月・１月）

○実習生受入

実績数：特別支援学校（４名）・大学生教員介護体験：５校（６名）  
特別支援学校教員（初任者研修６名・５年経験者２名）・短大生（２名）

○ボランティア受入

実績数：３０９名（前年度１５４名）定期ボランティアが増えた。

４．サービス向上の取組

**職員研修**

○外部研修（参加者１２名・延１８日）

○ＪＴ指導者・安全運転管理者講習・発達障害・話し方折衝交渉力向上・次世代リーダー・個別支援計画作成・県社協新任研修・行動援護従事者研修

○内部研修

権利擁護・ヒヤリはっと（４月）、個人情報（５月）、新人運転研修（６月）、安全運転研修（７月）、虐待防止研修（８月）、個別支援計画・ＰＴ研修（１０月）、安全運転研修（１２月）、感染症研修（１月）

**危機管理対策**

各報告について、朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・スタッフ会議等で共有・対応の検討を行うことが定着した。

○ヒヤリはっと ５５件（前年度５４件）

利用者間の接触（２８）・車内及び運転（５）・作業（１０）・転倒（３）  
見守り確認（９）

○事故報告 ９件（前年度９件）

車の脱輪（３）・車をポールにこする（２）・車の縁石乗り上げ（１）  
利用者の他害（１）・利用者のキズ（１）・売上の紛失（１）

○苦情申立 ０件（前年度１件）

H29年度 通所実績数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
生活介護															
定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	—
契約者数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40.0	40	99%
通所日	20	20	22	20	20	20	21	21	20	19	19	21	243	243	100%
利用者延数	719	717	789	722	679	724	760	755	717	682	674	754	8,692	8,864	98%
平均利用者/日	36.0	35.9	35.9	36.1	34.0	36.2	36.2	36.0	35.9	35.9	35.5	35.9	35.8	36.5	98%
利用率(定員比)	120%	120%	120%	120%	113%	121%	121%	120%	120%	120%	118%	120%	119%	122%	98%
就労継続支援B型															
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	年間	前年度	前年度比
契約者数	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17.4	14.5	120%
通所日	24	24	25	25	22	25	24	25	23	23	23	26	289	289	100%
利用者延数	252	267	279	269	254	294	294	296	295	258	262	312	3,332	2961	113%
平均利用者/日	10.5	11.1	11.2	10.8	11.5	11.8	12.3	11.8	12.8	11.2	11.4	12.0	11.5	10.2	113%
利用率(定員比)	105%	111%	112%	108%	115%	118%	123%	118%	128%	112%	114%	120%	115%	102%	113%

H29年度 ランチサービス実績数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
ランチサービス															
利用者食数	890	841	996	905	862	933	878	922	920	853	869	922	10,791	10,536	102%
	61%	61%	62%	61%	62%	64%	64%	65%	63%	65%	65%	65%	63%	64%	—
職員食数	546	512	563	541	497	510	462	483	508	460	459	474	6,015	5,752	105%
	38%	37%	35%	37%	36%	35%	34%	34%	35%	35%	34%	34%	35%	35%	—
ボランティア他	14	18	39	34	29	15	24	17	34	9	19	14	266	141	189%
	1%	1%	2%	2%	2%	1%	2%	1%	2%	1%	1%	1%	2%	1%	—
総計	1,450	1,371	1,598	1,480	1,388	1,458	1,364	1,422	1,462	1,322	1,347	1,410	17,072	16,516	103%

H29年度 送迎サービス実績数(回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
送迎サービス															
就労B型	279	270	291	280	252	300	291	310	285	284	271	295	3,408	3,293	103%
生活介護	1,042	1,029	1,150	1,067	980	1,063	1,046	1,090	1,050	1,047	1,002	1,001	12,567	12,224	103%
合計	1,321	1,299	1,441	1,347	1,232	1,363	1,337	1,400	1,335	1,331	1,273	1,296	15,975	15,517	103%

【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】

特定相談支援・障害児相談支援・生計困難者相談支援

重点 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の相談支援を続けて行く（本人・家族の希望に沿った総合的な計画）</li> <li>○きらり Smile サロンの更なる発展（社会貢献）</li> <li>○生活困窮者支援を4月から開始し体制を整える。</li> </ul>
--------------	---

- ・希望に沿った、きめ細やかな支援ができた。本人や周りの力を中心に、サービスを組み立て関係機関（医療・学校・事業所・行政など）と連携し総合的な支援が行えた。新たに、虐待（性的・暴力）に関する支援や発達障害・引きこもりなど困難ケースが増えている。サービスに繋がらないケースの相談支援については、福祉課・委託相談と検討し、インテークの段階で、どこが受けるか流れの確認を行った。契約者が増え、新規の受け入れについて厳しい状況となった。
- ・きらり Smile サロンでは、①参加者自身で調べて実行 ②友達づくり、を目標に調理・外出・運動3つのテーマで企画実施を参加者自身が行えるよう、各2回サロンを開催した。その経験が生かされ、サロン以外に参加者同士で外出するようになった。一方、当初想定していた引きこもりや精神の方の参加者は増えていない。
- ・生活困窮者支援では、3件の相談があった。のびっこボランティアにつなげ、利用者との交流から就労意欲につながり1件終結となった。新たな地域課題を知る機会となり社会福祉法人としての使命を考える1年となった。

1. スタッフ体制      管理者1名・相談支援専門員2名（管理者兼務1名）  
計 2名（うち常勤2名）

2. サービス提供実績

- ・利用契約……………142件（平成29年4月1日～平成30年3月31日）  
    新規契約 22件   ・ 契約終了 6件
- ・計画作成……………延122件/年
- ・モニタリング…延307件/年
- ・認定調査……………延26件/年

○利用者内訳

性別	児童	成人	計
女	13	42	55
男	19	68	87
計	32	110	142

主な障害	児童	成人	計
知的	26	72	98
身体	2	12	14



精神	4	25	29
難病	0	1	1
計	32	110	142

援護市町村	児童	成人	計
川島町	32	100	132
川越市	0	4	4
北本市	0	2	2
桶川市	0	1	1
さいたま市	0	1	1
越谷市	0	1	1
江東区	0	1	1
計	32	110	142

月別実績		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年	前年比
児童	契約数	25	25	25	26	26	26	26	28	28	28	30	32	-	28	-
	計画	5	0	3	21	1	1	0	0	1	0	0	2	34	31	110%
	モニタリング	7	6	3	3	4	4	4	3	26	4	4	5	73	56	130%
成人	契約数	97	98	98	99	99	102	103	103	105	105	104	104	-	96	-
	計画	6	4	1	31	3	5	8	8	6	12	2	2	88	65	135%
	モニタリング	9	13	18	14	11	29	13	19	45	17	17	29	234	252	93%
全体	契約数	122	123	123	125	125	128	129	131	133	133	134	136	-	124	-
	計画	11	4	4	52	4	6	8	8	7	12	2	4	122	96	127%
	モニタリング	16	19	21	17	15	33	17	22	71	21	21	34	307	308	100%
認定調査		0	2	1	2	7	4	1	5	0	2	2	0	26	24	108%

### 3. サービス向上のための取り組み

○研修・会議 相談支援従事者現任研修（1名）

比企自立支援協議会（6回） 川島町保健センター情報交換会（毎月）

川島町地域包括ケアシステムモデル事業地域ケア会議（1回）

川島町福祉課・アスポーツ相談支援センター埼玉西部と引きこもりに関する情報交換を行った。

○ヒヤリはっと 0件（前年度0件）

○事故報告 0件（前年度0件）

○苦情申立 1件（前年度0件） 個人情報に関すること

## 【ライフサポートそら】

居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス（支援）の質の向上</li> <li>○ニーズに応えられる体制を整える</li> <li>○重度障害者支援の研究と強化</li> <li>○（週末利用に対応する）訪問介護員の確保</li> <li>○安全運転意識向上</li> </ul>
----------	---

- ・ 定期にサービス検討をする場を設け確認しあい、個別ニーズに添ったサービス提供に努めた。また、行動援護従事者養成研修や同行援護従事者養成研修の受講も積極的に推進し、ニーズに応えられるよう体制の強化も図った。
- ・ 利用者や家族のニーズを直接または相談員等関係機関から拾い上げ、新規受け入れや現利用者の計画見直しを行い利用実績数としても増えている。特に今年度は、本人の成長段階で家族との外出が困難というニーズや家庭状況の変化による入浴ニーズなどが増えた。とりわけ行動援護の利用が20%近く増加している。
- ・ 週末の対応体制では、訪問介護員が少し増えたものの、それ以上にニーズがあり受けきれていないのが現状である。引き続き人材確保に努めていく。
- ・ るんるんクラブでは初めてボランティアを受け入れて対応した。新しい第一歩であり、利用者も新しい関わりができ楽しみが増えた。今後もボランティア受け入れを図る。
- ・ 警察署の方にきていただき安全運転講習を実施したり、会議にて安全に関する資料を読み合わせたりし安全運転向上に努めた。大きな事故はなかったものの細かい接触（壁に擦る等）がみられた。ドライブレコーダーを全車に搭載した。事故検証や運転チェック等、引き続き安全対策を講じていく。
- ・ 業務・支援マニュアルの見直しをはじめた。現状に合った業務方法の統一化・標準化を図り、効率的な運営管理・安定したサービス提供を目指す。次年度に完成予定である。

### 1. スタッフ体制

管理者1名・サービス提供責任者2名（管理者兼務1名）

ヘルパー6名・登録型ヘルパー21名                      計29名（うち常勤7名）

### 2. サービス提供実績 ※詳細は「月別利用実績表」参照

事業別	契約者（h 29.4.1～h 30.3.31）	利用実績／年間
障害（居宅介護等）	39名	8,031時間
介護（訪問・予防）	5名	322時間
移動支援	32名	3,805時間
生活サポート	115名	3,210時間
るんるん	32名	延参加451名

### 3. サービス向上の取り組み

#### 職員研修

##### ○外部研修（参加者15名・延37日）

管理者キャリアパス・コミュニケーション力・障害者虐待防止・同行援護従事者養成・行動援護従事者養成・福祉有償運送運転者講習

##### ○内部研修

安全運転ポイント（毎月）・事例検討（6回）・個人情報取扱（5月）・安全運転講習（7月）・普通救命講習（10月）・感染症対策（12月）・虐待防止（3月）

#### 危機管理対策

定例会等で安全運転の意識向上を図る取り組みを行った。事故件数は減っている。ヒヤリはっとの提出が年々減ってきており、ヒヤリはっとの理解・認識を高めていく必要がある。

##### ○ヒヤリはっと 13件（前年度37件）

転倒のおそれ・手荷物忘れのおそれ・突発行動など

##### ○事故報告 8件（前年度15件）

車両擦り・車両ドアパンチ・派遣遅刻など

##### ○苦情申立 1件（前年度1件）

連絡対応の不備

\*苦情には至っていないが不手際と思われる事項：13件（前年度18件）

内容：連絡ミス・説明不足・対応不手際など

##### ○保健衛生管理

職員健康診断（5月）・感染予防対策・インフルエンザ予防接種の補助奨励 他

##### ○車両運行管理

日常点検・法令点検・車検の実施・車両内外清掃・配車・ドライブレコーダーの設置 他

### 4. その他 そら通信・るんるん通信の発行（各12回／年）

**行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護／月別利用実績**

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
援行 契約者	20	20	20	20	20	20	21	21	21	22	22	22	20.8	18.2	114%
護動 利用時間	457.5	466.0	455.0	503.0	504.0	467.5	450.0	471.5	508.0	494.0	505.5	557.0	5,839.0	4905.0	119%
訪重 契約者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%
問度 利用時間	18.5	17.5	17.0	17.5	18.0	18.0	30.0	24.0	17.0	17.5	24.5	17.5	237.0	210.0	113%
介居 契約者	10	10	11	13	13	14	14	14	14	14	14	13	12.8	10.5	122%
護宅 利用時間	89.0	101.5	106.5	140.5	145.0	148.5	155.0	156.0	150.0	145.0	122.5	162.0	1621.5	1527.0	106%
援同 契約者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	2.0	100%
護行 利用時間	31.0	25.5	29.0	26.0	30.5	23.5	26.5	25.0	27.5	28.5	31.0	29.5	333.5	350.5	95%
契約者	31	31	32	34	34	35	36	36	36	37	37	36	34.6	29.7	116%
利用時間	565.0	585.0	578.5	661.0	667.0	634.0	635.0	651.5	675.0	656.5	652.5	736.5	8031.0	6992.5	115%

**訪問介護・予防訪問介護／月別利用実績**

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
介訪 契約者	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0.8	1.0	83%
護問 利用時間	0.75	1.50	5.25	3.50	1.75	3.50	3.25	1.50	0.00	0.00	10.00	12.50	43.50	71.50	61%
訪予 契約者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3.1	3.0	103%
問防 利用時間	21.00	23.75	23.50	22.00	23.00	22.50	22.75	21.50	22.50	20.00	23.25	32.75	278.50	257.75	108%
契約者	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	5	3.9	4.0	98%
利用時間	21.75	25.25	28.75	25.50	24.75	26.00	26.00	23.00	22.50	20.00	33.25	45.25	322.00	329.25	98%

**移動支援・月別利用実績**

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
身介あ 契約者	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31	31	31.5	30.9	102%
体護り 利用時間	132.0	160.5	139.5	166.5	157.5	128.5	124.5	121.5	125.5	111.5	115.5	112.0	1595.0	1489.0	107%
身介な 契約者	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32.0	31.1	103%
体護し 利用時間	205.5	187.0	198.0	195.0	212.0	162.0	174.0	191.0	157.5	166.5	172.0	189.5	2210.0	2138.5	103%
契約者	64	64	64	64	64	64	63	63	63	63	63	63	63.5	62	102%
利用時間	337.5	347.5	337.5	361.5	369.5	290.5	298.5	312.5	283.0	278.0	287.5	301.5	3805.0	3627.5	105%

**生活サポート・月別利用実績**

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利 契約者	105	105	108	108	108	109	110	110	110	111	111	112	108.9	106.5	102%
用 利用者実人数	62	68	64	62	64	62	62	64	65	63	66	64	63.8	63.8	100%
実 利用時間	240.0	293.0	274.5	276.5	291.5	230.0	266.5	277.5	275.0	245.5	270.5	269.5	3210.0	3115.5	103%

平成29年度 るるるんクラブ 月別利用実績

プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	回
よさこい	8	24	11	12	12	11	12	12	9	10	9	7	137	13
フラダンス	—	—	—	—	10	9	11	10	—	—	—	—	40	4
フラワーアレンジ※	—	13	—	—	—	—	13	—	12	—	—	—	38	3
手品	10	—	—	—	—	—	—	11	—	—	—	—	21	2
調理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8	8	24	3
ヨガ	—	—	12	12	10	13	—	—	—	—	—	—	47	4
キックベース	13	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27	2
卓球	—	—	15	16	—	—	—	—	—	—	—	—	31	2
ドッジボール	—	—	—	—	—	—	—	—	13	14	—	—	27	2
ドッジビー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	13	26	2
キッズ	2	4	2	3	2	3	4	2	4	2	3	2	33	12
合計	33	55	40	43	34	36	40	35	38	34	33	30	451	49

○登録者数： 32名（川島町内 31名、川島町外 11名）

○発表の場：よさこい&ダンス舞台発表…ウイングフェス（5月）・のびっこ夕涼み会（8月）平成の森老人保健施設（3月）

フラダンス…川島町生涯学習フェスティバル（11月）

フラワーアレンジ（キッズ含む）…川島町中央文化展展示（11月）

平成29年度 グループ外出実績			
実施日	内容	行先	参加数
4月 (2・8・9日)	お花見に行こう	上野公園	3名・6名・7名
5月(6・7日)	動物を見に行こう	東京競馬場	7名・6名
6月(3・4日)	屋内スポーツを楽しもう	新三郷ラウンドワン	9名・6名
7月(1・2日)	涼を感じに行こう	横浜みなとみらい	9名・6名
8月(5・6日)	夏のイベントに参加しよう	お台場	8名・4名
9月(2・3日)	味覚理の秋を楽しもう	日本橋	8名・6名
10月(7・8日)	よさこいを見に行こう	坂戸よさこい	7名・6名
11月(4・5日)	大きな建物を見に行こう	東京スカイツリー	9名・5名
12月(2・3日)	冬のイベントを楽しもう	神宮外苑	11名・8名
1月(6・7日)	初詣に行こう	巣鴨とげぬき地蔵	8名・7名
2月(3・4日)	働く乗り物を見に行こう	羽田空港	9名・4名
3月(3・4日)	遠出をしよう	高崎	9名・6名
年間総数：実施回数/25回 延参加人数/175名 ヘルパ-確保できず断った数/8名			

## 【グループホームにじ】 共同生活援助

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者ニーズや想いに寄り添った個別支援計画の下、本人主体の支援を行う。</li> <li>○本人・保護者と連携して、将来の生活を見据えた仕組み作りを進める。</li> <li>○スタッフは、常に人権意識を持った支援をおこなう。</li> <li>○地域の中のグループホームとして、地域交流を大切にする。</li> </ul>
----------	--

- ・開設してから4年が経過し、利用者それぞれの生活リズムが確立されてきた。本人主体という観点から、同じホームに居住しているからとその生活スタイルを同一視して捉えるのではなく、個人ごとの異なる生活スタイル、生活リズムを大切にしたい。
- ・平成30年2月に利用者1名が退去（利用契約終了）し、3月より新たに1名が入居された。
- ・各入居者においては、保護者のほかに、相談支援機関、日中サービス機関、ヘルパー事業所等複数の関係機関が関わっている。日頃の様子、通院時の情報共有など、連携を大切にしてきた。
- ・入居者の家庭環境は人それぞれであり、保護者とホームの役割について、金銭管理・通院対応など個別状況に合わせた対応を行ってきた。また、保護者への連絡（様子・体調等）も同様である。引き続き将来に亘る生活を見据えながら、それぞれのご家庭の状況に合わせた対応をおこなっていく。
- ・生活の場面ということで、利用者スタッフの距離感が密接になりがちである。日々の小さな馴れ合いが大きな人権侵害につながるという点を意識して、人権擁護について日頃よりスタッフの意識啓発を行ってきた。また、ホーム運営の特性上、多くのスタッフが支援に関わるという形になるため、支援の対応にずれが生じ入居者が混乱しないように、会議や業務日誌等による引き継ぎの充実に努めてきた。
- ・今年度も、下八ツ林地区の皆様より、地区美化運動（年3回）や種まき運動（下八ツ林活動組織・年3回）に声を掛けて頂き、いずれも入居者とスタッフで参加した。また、回覧板も出来る限り入居者と一緒に回すようにして、地域の皆様と交流が出来るように努めている。その他、スタッフが地域の防犯パトロールや新年会等の懇親会にも出来る限り参加し地域交流を大切にしてきた。

### 1. スタッフ体制

管理者兼サービス管理責任者1名・世話人兼生活支援員1名・世話人3名  
生活支援員（夜間）6名・生活支援員（休日）2名 計13名（うち常勤2名）

### 2. サービス提供実績

**契約者** 6件/定員6名（平成30年3月31日現在）

#### **契約者状況**

性別：女性3名・男性3名 援護市町村：川島町6名

区分	1	2	3	4	5	6	計
人数	0	0	0	0	3	3	6

年齢	20代	30代	40代	50代	計
人数	1	1	2	2	6

#### 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者延数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	154	140	175	1844
日平均利用	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.6	5.1
利用率(%)	83	83	83	83	83	83	83	83	83	82	83	94	84

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修

常勤スタッフが中心となって外部研修に参加し、そこで学んだことを事業所のスタッフ会議の場で各スタッフに反映させるようにしている。また、にこにこ・ぬくぬくと隣接した事業所という点を活かして、研修情報の交換やスタッフ間の交流などを積極的に行っている。

#### ○外部研修（参加者1名・延3日）

地域グループホーム見学会（8月）・虐待防止権利擁護研修（12月）・成年後見制度研修会（3月）

#### ○内部研修

虐待防止権利擁護研修（6月）、個人情報保護研修（9月）、感染症研修（12月）、救命救急講習（9月）

#### 危機管理対策

利用者同士の関わり合いについては関係性が保たれてきたが、突発的な場面などで支援に入る必要もある。利用者同士の直接的な関わり合いを後押ししながらも、大きな事故につながらないようにスタッフによる未然の気づきや、物理的な危険の除去を講じていく。

ヒヤリはっとの集積・分析で傾向を把握することが、大きな事故予防のための有効な手段のひとつでもあるため、今年度報告件数の少なかったヒヤリはっとシートの提出を各スタッフに促していく。

#### ○ヒヤリはっと 10件（前年度10件）

利用者間の接触（5）・ホームからの飛び出し（3）・物損のおそれ（1）・転倒（1）

#### ○事故報告 1件（前年度2件） 利用者によるドアの破損（1）

#### ○苦情報告 0件（前年度1件）

## 【にこにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

重点 目標	<p>○児童・保護者の想いを出発点として、発達段階、障害特性に基づいた個別支援計画を作成し、その計画に基づいた毎日の支援の積み重ねを大切にしていく。</p> <p>○サービスを必要としている潜在的な利用者の掘り起こしに努めていく。</p> <p>○この地域に根付いた事業所となるために、にこにこの認知度を高めていく。</p> <p>○オープン1年目で積み重ねた支援のプロセスやスキル、経験に、2年目の日々の支援の中で肉付けをして、事業所全体のレベルアップをはかる。</p>
----------	--

- ・開設初年度の平均利用率が47%であったところから、2年目90%へと増加した。利用児童が増える中で、当日の利用人数、児童の特性などを考慮しつつ活動プログラムの立て方等を日々工夫し、毎日が充実した活動になるように努めてきた。
- ・一人の利用頻度は、毎日から月数回まで幅広い。クッキングなど特定のプログラムを楽しみに参加して下さる方もいる。これらの多様なニーズにできるだけ即し、個別支援計画に基づき個々の児童に合わせた対応を心掛けてきた。
- ・利用曜日の変更など契約者のニーズ変更に柔軟に対応してきた。
- ・相談支援機関や学校との連携が重要な方もいる。これら各関係機関との連携をできるだけ密にし、支援や対応の統一に努めている。また各相談支援機関等が主催する担当者会議においては、勤務を調整し出席できるように対応してきた。
- ・送迎ニーズはとて高く、9割強の方が利用されている。全体の利用率が上がるにつれ、送迎範囲も多方面にわたるようになってきた。効率的な送迎体制を組むとともに、安全運転の徹底に努めている。ドライブレコーダー全車に搭載した。

### 1. スタッフ体制

管理者1名・児童発達支援管理責任者1名・事務員1名

児童指導員2名・保育士3名・指導員4名

計12名（うち常勤8名）

### 2. サービス提供実績

**契約者** 35件（平成29年4月1日～平成30年3月31日）／定員10名

放課後等デイサービス・・・34名

児童発達支援・・・・・・・・・・1名

#### 契約者状況

性別	女性	男性	計
放課後等デイサービス	13	21	34
児童発達支援	0	1	1
計	13	22	35



市町村	川島	川越	吉見	東松山	坂戸	上尾	桶川	北本	計
放課後等デイ	14	10	3	1	1	2	2	1	34
児童発達支援	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	15	10	3	1	1	2	2	1	35

学校・学年別	児童発達	放課後等デイ対象				計
	未就学	小学部 1~3年	小学部 4~6年	中学部	高等部	
川越特別支援学校		2	2	3	4	11
ひばりが丘特別支援学校		3	2	6	5	16
上記以外	1	1	3	2	1	8
計	1	6	7	11	10	35

#### 利用実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
契約者数	31	31	32	32	33	33	33	34	34	35	35	35	35
開所日	25	27	26	26	24	26	26	26	24	24	24	27	305
利用延数	215	237	242	226	224	245	237	229	230	200	200	262	2747
平均利用/日	8.6	8.7	9.3	8.6	9.3	9.4	9.1	8.8	9.5	8.3	8.3	9.7	9.0
利用率	86%	87%	93%	86%	93%	94%	91%	88%	95%	83%	83%	97%	90%

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修

○外部研修（参加者7名・延13日）

チームリーダーキャリアパス研修・感染症基礎研修・強度行動障害支援者養成研修、  
発達障害ステップアップ研修・新任職員フォローアップ研修・障害児通所支援事業  
所職員研修・障害者虐待防止・権利擁護研修

○内部研修

虐待防止権利擁護（6月）・個人情報保護（10月）・感染症研修（12月）・安全運  
転・車椅子操作（11月）・救急救命講習（9月）

#### 危機管理対策

利用者の行動を把握することで未然に防げる事故も多かった。ヒヤリはっとの集  
積・分析・対策のためにヒヤリはっとシートの報告件数を上げていく必要がある。  
大きな事故はなかったが、危機管理マニュアルを把握し、迅速・確実な行動がとれる  
ようにシミュレーションをする必要性もある。

○ヒヤリはっと 13件

怪我の危険（５）・転倒（４）・利用者同士のかかわり（３）・車の開閉（１）

○事故報告 １１件

怪我（５）・自動車接触（２）・自傷（１）・迷子（１）・送迎忘れ（１）・金銭紛失（１）

○苦情報告 ０件

**その他**

平成２９年度より放課後等デイサービスガイドラインに基づく自己評価を実施し、その結果については法人ホームページに公開した。

**【ぬくぬく】 短期入所**

重点 目標	○利用者のニーズに最大限応えると共に、支援の質をより一層高める。 ○多くの利用者の利用ニーズに応えられるように、マッチング機能を高める。 ○緊急時対応の継続、迅速な対応 ○スタッフの人権意識の更なる向上
----------	--

- ・開設２年目においても引き続き短期入所のニーズは高く、ほぼ毎日予約が埋まっている状況であった。
- ・保護者や近親者の病気・ご不幸等における緊急時の受け入れニーズが不定期であるものの一定数あり（年１５件：保護者の逝去１件・保護者の傷病４件・親族の逝去５件・親族の入院４件・その他１件）、優先して受け入れることに努め、全てにおいて対応をすることができた。他利用者の利用変更（譲っていただくこと）で成り立っている。
- ・定期的な利用ニーズは多様である。たとえば、将来の自立に向けて調理や洗濯等をご自身でやって頂くケースもある。来所時間、帰宅時間、食事のある・ないといった対応についても、個々のニーズに合わせて対応している。
- ・利用を希望されている全てのニーズに応えることを目標にして、スタッフ配置、利用者の様子を踏まえながら、毎月調整をしている。
- ・夜間支援及び深夜帯は１人体制ということもあり、特に虐待防止・権利擁護については、研修への参加や日頃の啓発などで意識向上を図ってきた。

１．スタッフ体制・・・にこここ兼務

管理者１名・事務員１名・生活支援員６名

計８名（うち常勤７名）

２．サービス提供実績

**契約者** ６８件（平成２９年４月１日～H30年３月３１日）／定員４名

**契約者状況**

性別	女性２７名	男性４１名	計 ６８名
----	-------	-------	-------

市町村	川島	川越	吉見	上尾	桶川	東松山	北本	坂戸	鶴ヶ島	計
	４２	７	６	４	３	２	２	１	１	６８

区分	1	2	3	4	5	6	児童1	児童2	児童3	計
	0	0	4	9	15	28	1	3	8	68

#### 利用実績数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362
利用者延数	234	226	232	230	236	230	218	210	216	210	222	232	2696
平均利用日	7.8	7.2	7.7	7.4	7.8	7.6	6.9	7.3	6.9	7.5	7.9	7.4	7.4
利用率	97%	91%	96%	92%	98%	95%	87%	91%	87%	95%	99%	93%	93%

### 3. サービス向上のための取組

**職員研修** \*にここに参照

#### 危機管理対策

薬に関して、服薬時間の間違い、飲み忘れといったことが生じた。保管・服薬前後の確認等、必ず2人以上で声を掛けあい確認するように徹底した。

○ヒヤリはっと 8件

薬に関すること (3)・転倒 (2)・けがの危険 (2)・送迎時のお迎え忘れ (2)

○事故報告 11件

転倒 (5)・怪我 (3)・服薬忘れ (2)・服薬間違い (1)・荷物の間違い (1)

○苦情報告 0件

以上